

つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた



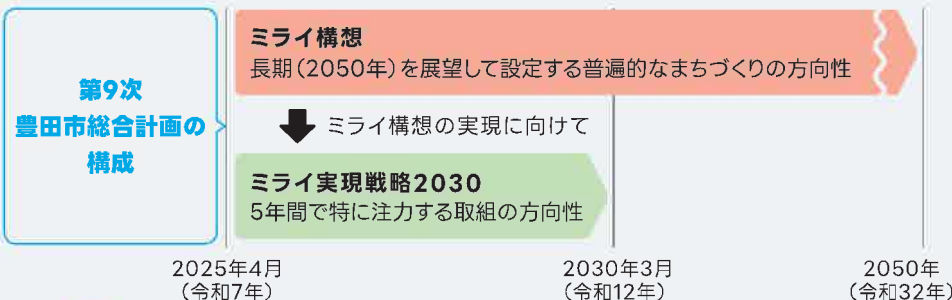
第9次豊田市総合計画

中 間 案

豊田市総合計画について

総合計画とは

総合計画は、市民と行政がともに取り組む、
これからの豊田市のまちづくりの「将来像」を描き、
それを実現するための方向性を明らかにする最も基本となる計画です



計画の背景

豊田市の特性・強み

- 多様で充実した担い手が活躍するまち
- 世界的な自動車産業の拠点として発展してきたまち
- 多くの市民が「住みよさ・愛着を感じているまち」
- 豊かな自然、多様な歴史・文化を持つまち

第8次豊田市総合計画(2016年～2024年)の主な取組

- 時代の変化に適応し、多様化するニーズに合わせて市民サービスの維持・拡充や必要とされる公共施設の整備など、量・質ともに充実した取組を展開してきました

✓ 超高齢社会への対応

福祉の総合相談窓口の運営、官民連携による介護予防「ずっと元気!プロジェクト」の実施など

✓ 「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資

産業構造の多角化・高度化、企業誘致、世界ラリー選手権の開催、山村地域への移住定住の促進など

✓ まちの課題解決力の強化

多様な担い手による地域課題解決の実施、市役所のデジタル化・スマート化、公共施設の総合的な管理の推進など



豊田市を取り巻く環境変化

「ひと」の視点

中長期的な人口減少・少子化・人生100年時代の進展

こどもから高齢者まで、全ての人が元気に活躍し続けられる社会や、安心して暮らすことのできる地域社会をつくることが重要

価値観・ライフスタイルの多様化の進展

誰もが将来に希望を持ち、自分らしく安心して暮らせるよう、「つながり合い」を通じた、気づき合い、認め合い、学び合いが重要

「人を支える基盤(まち)」の視点

産業構造の大転換・カーボンニュートラルの要請

産業構造やビジネスモデルが大きく転換する中で、引き続きものづくり企業が集積している特性を生かしたまちづくりが重要

デジタルトランスフォーメーション(DX)の加速、生成AI等の技術革新の進展

デジタル化や生成AI等の技術革新が社会経済全般にもたらす様々な可能性を生かしたまちづくりが重要

持続可能な都市経営の重要性

気候変動や災害の激甚化、公共施設の老朽化など、本市の経営を取り巻くリスクを想定し、様々な主体と協力・補完し合いながら、まちづくりを進めていくことが重要

リニア中央新幹線の開業等

中部圏域の経済優位性が高まることが予想される中で、日本経済の飛躍を担う本市の役割を意識した取組が重要

※生成AI…文章、画像、プログラム等をつくる人工知能の総称



第9次豊田市総合計画は “まちづくりの羅針盤”



ますます変化の激しい予測困難な社会の中で
常に施策を見直しながらまちづくりを進めることが重要です

ミライ構想

将来像

つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた



「**つながり**」によって、
多様な価値や可能性を創出するまち

#つながり

わたしたちは、様々な「つながり」を通じてお互いを生かし合う中で、
多様な価値や可能性をつくり出し、暮らしを楽しむことができるまちを目指します



「**チェンジ**（変化）」と「**チャレンジ**（挑戦）」
によって、しなやかに変化し続けるまち

#チェンジ

#チャレンジ

わたしたちは、積極的・前向きに変化することを受容し、先進技術等も取り入れながら、
主体的に挑戦への一歩を踏み出せる、心豊かな社会を目指します



まちづくりの基本的な考え方

まちづくりを市民・行政がともに考え、進めていくうえで重視する価値観や大切にしたい考え方

4つの「発想の転換」

1

「個の充足・完結」から
「**つながり・関係性の拡がり・深まり**」重視へ



2

「ないものを補う」から
「**あるものを生かす**」発想へ



3

「足し算（積み重ね）」に
「**かけ算（組み合わせ）**」思考を



4

「行政がリードするまちづくり」から
「**多様な主体が創り上げるまちづくり**」へ



3つの「変える」

／ 気づく ／

見方

を「変える」

これまでのあり方を当たり前とせず、多様な価値観を認識し、認め合う

／ 考える ／

思考

を「変える」

時代に即して、常に考え方を柔軟に変えていく

／ 行動する ／

行動

を「変える」

自分ごととして物事を捉え、できることから行動につなげていく

ミライ構想



将来都市構造

1 将来都市構造の基本的な考え方

拠点連携型都市

- 広大な市域の中で、市民の暮らしを将来にわたって維持・向上するためには、都市部と山村部の都市基盤を柔軟に活用しながら、社会環境に適応して、多様な価値や可能性を創出するまちづくりが必要
- 地域の特性に応じて、暮らしに必要な機能を集積・維持すべき場所を「拠点」、公共交通や道路・情報基盤を「ネットワーク」に設定し、拠点間の相互連携を図る

- ✓ 更なる選択と集中により、暮らしと自然が調和する土地利用を図る
- ✓ 拠点同士の連携を強め、様々な循環・対流を生み出し、都市部と山村部それぞれの価値を高め合うことを目指す

※将来都市構造における「都市」とは豊田市全域を指します
「都市部」とは、本市の中で人口や暮らし機能が集まっている地域を指します

2 拠点連携型都市の実現に向けて

拠点への居住・機能の緩やかな集積と拠点間の連携強化

- 都市部では、拠点を中心に暮らしに必要な機能を集めることに加え、利便性の高い地域への新規居住や住替えを推進
- 山村部では、必要な機能を拠点に維持し、暮らしの質を確保するとともに、コミュニティの維持に向けた移住・定住、交流を促進
- リニア中央新幹線の開業を見据えた名古屋市へのアクセス機能の強化を図るとともに、拠点同士の連携や交流の促進に必要なネットワークを強化

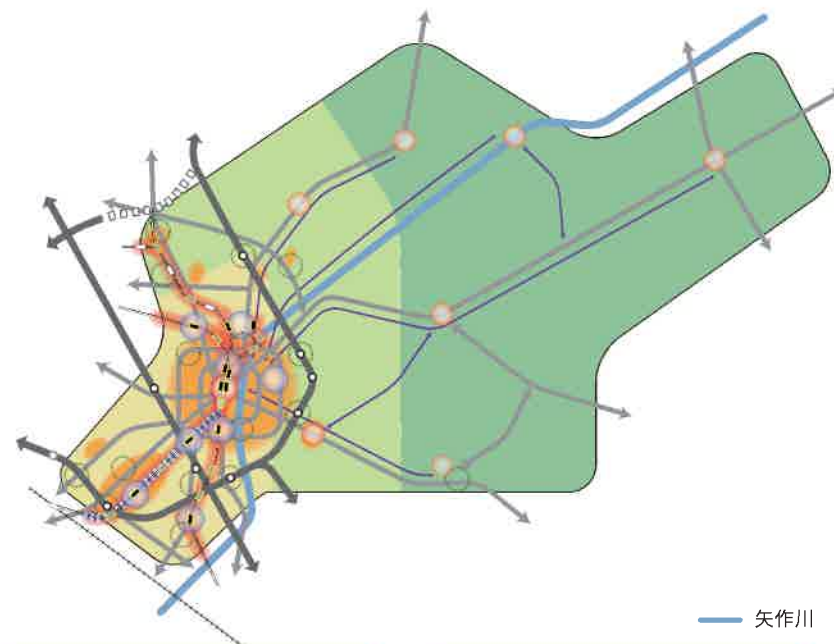
都市基盤を生かした更なる産業の強化と地域資源の保全・活用

- 将来にわたって都市活力を持続するため、充実した都市基盤を最大限に活用した更なる産業の集積・強化を推進
- 優良農地や森林の保全を基本とし、地域特性に応じて地域活力の向上に資する農地や森林の活用を推進
- 豊かな自然や歴史・文化・スポーツなど様々な地域資源を活用した地域の活性化を推進

安全・安心な防災まちづくりの推進

- 農地や森林が持つ多面的機能を生かした適切な土地利用を推進
- 自然災害へ適応するため、防災・減災対策の着実な推進

3 将来都市構造イメージ



ゾーン

土地の現況等を踏まえ、計画的な土地利用の推進を図るためのゾーン

- 市街地ゾーン
- 田園・都市共生ゾーン
- 里山・都市共生ゾーン
- 森林環境ゾーン

拠点

地域特性を踏まえ、居住や暮らしに必要な機能の集積・維持を図る拠点

- 都心
- 産業技術拠点
- 都市拠点
- 生活拠点

エリア

重点的に産業や居住の誘導を図るエリア

- 産業誘導エリア
- えさちか居住誘導エリア
- 鉄道駅(拠点駅)
- 鉄道駅(促進駅)

ネットワーク

拠点間の相互連携を図る公共交通や道路に情報基盤を加えたネットワーク

- 鉄道
- 鉄道強化軸
- 高規格道路
- 高規格道路(調査中)
- 道路
- インターチェンジ
- 基幹バス

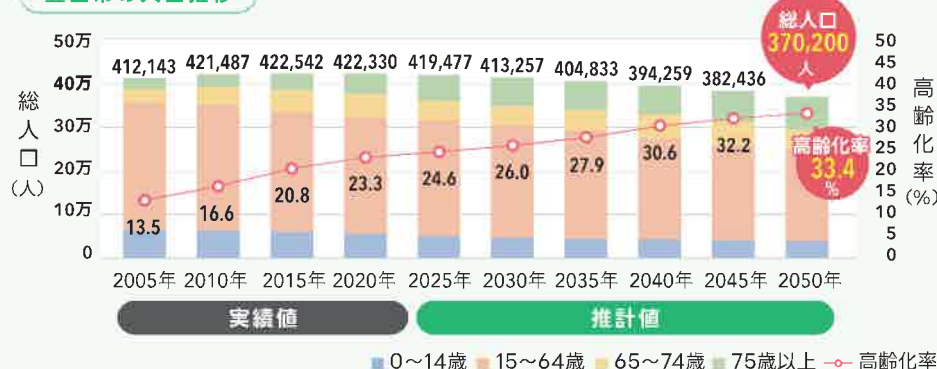
ミライ実現戦略2030



ミライ実現戦略2030の背景

「人口減少社会へ突入」「人口構造の大転換」

豊田市の人口推移



少子化の進行

本市で生まれるこどもの数は
4,146人(2013年)

≫ 2,694人(2023年)

10年で /
約35%減少



若年女性の流出

20～39歳の
日本人女性の社会減少が
顕著

3年で /
約2,000人減少



外国人人口の増加

外国人人口は
13,247人(2013年)

≫ 19,962人(2023年)

10年で /
約1.5倍



人口減少・人口構造の転換が進むと

産業・経済活動の担い手不足が加速する

医療・福祉の仕組みの維持が困難になる

豊かな自然環境の保力が困難になる

地域コミュニティの活力が低下する

持続可能な
まちを目指して

従来の発想を前提とした仕組みや考え方を継続していくのではなく、
新しい発想で物事を考え、**チェンジ(変化)・チャレンジ(挑戦)**の
思考で取組を進めていくことが大切です



注力する視点

視点① 「こども」起点でまちづくりを考える

- 魅力ある住み続けたいまちであるために、本市のミライをつくる「こども」起点で取組を進めることが大切です
- こどもたちが、ミライを生き抜く力を育むため、多様な場で、多様な人・世代とつながり、多様な経験ができるまちづくりを進めます
- 人生100年時代に豊かな経験・活力を次世代につなぎ、大人たちがいきいき暮らす姿を伝えることで、まちへの愛着を育むとともに、こどもたちのミライに夢と希望をつくることを目指します

視点② 誰もが「つながり合う」まちづくりを進める

- 人口減少社会において、改めて「つながり」の価値が高まっています
- つながりの中で、一人ひとりが「生きがいや自分らしさ」を大切にしながら、まちをともにつくっていくことが必要です
- まち全体でこどもの成長を支え、こどもから高齢者まで、全ての人がつながり合いの中で安心して暮らすことができる社会を目指します

視点③ 人を支える「まちの基盤」をつくる

- こどもたちのミライにつながるまちをつくるために、人を支える基盤として持続可能な都市経営を行うことが大切です
- 広域な市域を持つ本市が、一極集中ではなく、各地域が一定の自立をしながら連携していくことが重要です
- 圏域をリードする産業中枢都市として深化し、拠点連携型の都市構造の中で安全・安心なまちづくりを進め、豊かな自然環境を次世代へつないでいくことを目指します



ミライ実現戦略2030

取組方針 1 ともにこどものミライに夢と希望をつくる

わたしたちは、本市が持つ誇るべき多様な地域性や価値、豊かな担い手を生かし、一人ひとりがつながり、楽しみながら、こどもたちが自らのミライに夢と希望を持てる社会をつくります

取組目標 ① こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる

✓ こどもがミライを生き抜く力と自己肯定感を高めている

- こどもが多世代とのつながりの中で、多様な遊び・学び・体験ができる機会の充実
- こどもが多様なキャリアや先端技術等を学ぶ機会の充実

✓ 人生100年時代に誰もが学び合いを通じていきいきと暮らしている

- いつでも誰もがやりたいことに挑戦できる機会の充実

✓ 市民のまちへの愛着・誇りが育まれている

- 「クルマのまち」の魅力を身近に感じられる機会の充実
- 本市の多様な自然、歴史・文化芸術、スポーツの魅力の継承
- シティプロモーションの推進



取組目標 ② 誰もがつながり合いの中で安心して暮らすことができる

✓ まち全体がこどもの成長を支えている

- 子育て支援や相談体制の充実
- こどもが安心して過ごせる居場所の充実

✓ 誰もが地域・多世代でともにつながり合い、自分らしく暮らしている

- 地域や多世代がつながり合う機会の充実と多様化



取組方針 2

ともにミライにつながるまちをつくる

わたしたちは、将来を展望し、こどもたちにとって安全・安心で持続可能なまちの基盤をつくります

取組目標 ③ 産業中枢都市として深化し続ける

✓ 新たな産業が創出されている

- 新事業の展開や新製品開発へのチャレンジの促進
- 戦略的な基盤整備と立地支援

✓ 市内事業者が社会の変化に適応している

- 市内事業者の経営力強化

✓ 誰もが希望する働き方を実現している

- 女性などの多様な働き方の選択肢の充実



取組目標 ④ 将来を展望した都市環境の形成を進める

※都市環境における「都市」とは豊田市全域を指します

✓ 次代につなぐ快適な都市環境の実現に取り組んでいる

- 快適に暮らせる都市環境の創出
- つながり・連携の促進によるにぎわいと地域活力の向上

✓ 安全に暮らせる災害に強いまちの実現に取り組んでいる

- 激甚化・頻発化する自然災害への適応



取組目標 ⑤ 脱炭素社会の実現に挑戦する

✓ CO₂排出削減目標を達成している

- 多様な主体の行動変容の促進と具体的な取組の支援

✓ 新たなエネルギーや技術の利活用に取り組んでいる

- 新たなエネルギーや先端技術の利活用の推進



ミライ実現戦略2030は、5年間で特に注力する取組の方向性です
記載していない取組についても、必要な取組は適切かつ着実に実行します

施策体系(案)

取組方針

取組目標(めざす姿)

施策名

1

ともなひに子ども・若者と協働をつくる

1

子どもが
多様な生き方・暮らし方
を選択できる

- 1 地域資源を生かした「遊び・学び・体験」の機会の充実
- 2 自ら考え判断する力を育む教育の推進
- 3 多様な学びに対応した最適な教育環境の確保
- 4 大人の学び・活躍を支援する機会の拡充
- 5 「クルマのまち」の更なる魅力の向上
- 6 まちの歴史・文化・芸術や自然をミライにつなぐ取組の推進
- 7 身近な地域の魅力を知り、生かす機会の充実
- 8 テーマやターゲットに応じた戦略的な情報の発信

2

誰もがつながり合いの中で
安心して暮らせ
ことができる

- 9 結婚・出産・子育て支援の充実
- 10 保育ニーズへの対応と良好な幼児教育・保育環境の確保
- 11 地域等と連携したこどもの多様な居場所創出の推進
- 12 配慮が必要な子どもへの支援
- 13 地域活動の持続可能性の向上
- 14 多様でゆるやかな「つながり合い」創出の促進

3

産業中枢都市として
深化し続ける

- 15 ミライを支える産業の創出と育成
- 16 積極的な起業創業支援
- 17 産業用地の創出及び道路ネットワークの構築
- 18 市内事業者の持続可能性向上に向けた取組の支援
- 19 GX※による地域産業の成長促進
- 20 多様な働き方を実現する人材戦略への支援

2

ともなひにつながるまちをつくる

4

将来を展望した
都市環境の形成を
進める

- 21 都市部の利便性の高い暮らし環境の充実
- 22 山村部を支える持続可能な暮らしの仕組みづくり
- 23 社会環境の変化に適応する暮らし機能の最適化
- 24 多様な人をひきつける中心市街地の魅力向上
- 25 都市間・拠点間連携を支える交通ネットワークの強化
- 26 地域力発揮による防災力の強化
- 27 防災・減災を支える基盤づくり
- 28 暮らしを守る自然環境の適正な保全

5

脱炭素社会の実現に
挑戦する

- 29 脱炭素に向けた市民・事業者の行動の促進
- 30 脱炭素化を先導する公共の取組の推進
- 31 移動に係る脱炭素化の促進
- 32 水素社会の実現に向けた取組の推進
- 33 公民連携による先進技術の開発・活用の促進

※GX(グリーントランスフォーメーション)・・・グリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のこと

＼ 総合計画に対する御意見はとよたシティボイスへ /

今後の予定

2024年(令和6年)
9月 パブリックコメントの実施

2025年(令和7年)
3月 総合計画の策定・公表



とよたシティボイス

あなたの声でミライの豊田市を作ろう!

総合計画について

意見募集



問合せ先

豊田市 企画政策部 企画課 〒471-8501 豊田市西町3-60

TEL:0565-34-6602 FAX:0565-34-2192 メール:kikaku@city.toyota.aichi.jp